シュバル　活動の様子

８月は、雨の日も多く、限られた中で乗馬活動を行いました。個別レッスンについても、晴れ間を見ながらの実施でした。レッスンを重ねていく中で、子どもたちそれぞれの成長が見られています。最近では、自分で手綱を操作して馬に乗る子どもも増えてきました。また、馬とのふれあいの中では、馬の毛並みに沿って優しくブラシをかけたり、直接馬の体に触れ労いの言葉を掛けるなど、思いやりを感じられる場面も見られています。先日は、「装蹄師」が来て、馬の蹄をきれいにしてくれました。普段はなかなか見られない作業に、子どもたちも興味津々でした！今後も、馬とのかかわりから、多くのことを子どもたちに感じてもらえるように活動を行っていきたいと思います。